

# 岬町地域福祉計画・地域福祉活動計画推進検討委員会

## 会議録

日 時 令和2年8月12日（水）午後2時～午後3時45分  
場 所 岬町社会福祉協議会  
出席委員 吉原 雅昭・和田 博之・山尾 貴志子・多田 隆夫・宮川 益和・岸本 保裕・  
徳橋 憲二  
欠席委員 茂野 憲一・田中 繁樹・廣田 泉  
事務局 （岬町）松井 清幸・南 大介・大川 法之・中島 康展  
（岬町社会福祉協議会）増田 明・嶋坂 元希・亀崎 泰広・浅田 昌紀

### 開 会

司会者が岬町地域福祉計画・地域福祉活動計画推進検討委員会設置要綱（以下、「要綱」という）第6条第3項の規定により、委員総数の過半数（7名）の出席があるので、委員会の成立を宣言した。

#### 1 委員紹介

各委員より、自身の活動紹介等も含め、自己紹介を行った。

#### 2 委員長・副委員長選出

司会者は、要綱第5条第2項の規定により、委員長選出について諮ったところ、事務局一任の声があり、吉原委員を指名し、全員異議なく承認。

続いて委員長は、要綱第5条第2項の規定により、和田委員を副委員長に指名し、全員異議なく承認。

### 議 事

#### 3 「岬町地域福祉計画・地域福祉活動計画」策定経過について

策定経過について 事務局より、資料3、4に従い説明を行った。

委員長は、事務局の説明を受け、委員に意見・質問はないか尋ねた。

#### ○委員

説明を聞きましたが、これ3次計画ですよ。1次どうだったか、2次どうだったか、それで第3次にどのようにつながったのか説明いただきたい。

## ○事務局

1次計画は、10数年前に作らせていただきました。1次計画は、福祉共育をビジョンにしました。1次計画の大きな評価として、子ども懇談会というのは全国的にも行われていますが、10数年前は、岬町が初めてぐらいでした。1次計画からキューピーグループが誕生しました。もう一つが、行政においては、縦割りではなく、横のつながりですべてのネットワークをつないで、相談を一体的に受けるため総合相談体制の構築を進めました。2次計画においては、それをより一層発展していった。その中で淡輪地区で始まった活動が深日地区、多奈川地区と広がりました。もう一つが、住民のネットワーク化、プラットフォームと言いますが、高齢者分野のボランティア活動だけでなく、子どもから大人まで幅広くボランティア活動を進めるため、ボランティアセンターから岬町ボランティア住民活動支援センターを開設し、NPO法人を含めた幅広いネットワーク化を進めました。並行して、福祉共育を基本に置きながら、教育委員会、学校、地域のボランティア、民生委員、自治区長など、色々な方と一緒に子どもたちを巻き込んだまちづくりを推進していったことが大きなポイントです。

## ○委員長

計画書では、41頁のあたりから計画の振り返りがありまして、今日も3次計画1年目の振り返りをしますけれど、3次計画を作るときは、2次計画の項目を一つ一つ評価を詳しくしまして、それを簡単にグラフとか数字でどれくらいできたのかを見るのに、この41～44頁。44頁が一番わかりやすいと思いますけど。だいたい柱にのっつて、どの程度できて、どの程度できていないかを振り返りをして、アンケートとか懇談会をしましたので、それを踏まえ、全体のまとめが45頁のあたりになります。44頁を見ていただいても、今、今日やる3次計画と大きいフレームのところは変わっていないと思います。そのあと、国が新しい施策を入れてきたりありますので、あるいは災害のこととか色々ありましたので、そういうところを皆さんディスカッションして、買い物のこととか、防災のことを重視して作っていった感じかと。一応私も前回委員をしていたのでその辺り説明できるのかなと思います。

## ○委員

よくわかりました。ありがとうございます。

## 4 「岬町地域福祉計画・地域福祉活動計画」進捗状況について

### ① 基本目標1 福祉を共に育む 担い手・地域づくりについて

事務局より、資料5に従い説明を行った。

委員長は、事務局の説明を受け、委員に意見・質問はないか尋ねた。

#### ○委員

何点かお聞きします。3頁の一番下のところで、未実施ということになっていますが、右側今後の考え方空欄になっています。4頁多職種会議の開催も未実施。5頁ゲートボール交流事業の充実も未実施で、今後の考え方空欄になっているのは、どういうことになるのでしょうか。来年に向けてどうなるのか聞かせてください。

#### ○事務局

計画書では、役割分担を記載した形で掲載していますが、ひし形で記載しているものが、施策の展開の方向性を記載させていただき、ポツで記載している事項が、ひし形で記載している施策の具体的な取り組み内容になります。その為、ご指摘いただいている箇所については、ひし形で記載している大きな施策の展開についての評価を行い、かつ具体的な取り組み内容であるポツ印の内容について一つ一つ評価している形になっています。

もう一点、今後の取り組み方針についてですが、計画期間中に検討し、実施していきたいと考えております。

社協部分5頁になりますが、指導を行っていた方の高齢化や、学習指導要領の見直しに伴い縮小しております。ただし、防災・減災の取り組みへ移行していった状況です。

#### ○委員

ありがとうございます。それと、主な取り組みの成果。成果があって評価ですよ。成果となっているのに、「行っている」、とか現在進行形となっている。成果は「実施した」、「取り組んだ」という形があって評価になるのではないかと思う。言葉の統一をした方が良いのではと思います。

#### ○事務局

ご指摘いただいた通り、令和元年度分についての実績報告をしているので、次年度にはきちんとした形で資料を作成するようにします。

#### ○委員長

委員が言ったように、何を行ったかということがあって、その成果として、住民、子どもたちにどのようなことがあったかや、起こったことが実績であって、良いことがありましたというのが評価になります。だけど、こういう課題も残りましたということであれば、今後に向け見直していきますということになると思います。今回は、主に実績がどのようになっているかが主になると思います。

○委員

望海坂というところに住んでいるんですが、お年寄りも多くなく、安定した地域でそういう活動も必要ないんですが、活動を広めていきたいと思っているんですが、アドバイス等あれば教えてほしい。子ども中心に考えれば、学校がありますが、地域では他の地域との接触がないので、アドバイスいただければと思います。

○事務局

学校単位では、学校で色々な取り組みがありますが、地域でどのように作り上げていくのかというノウハウは、行政より社協が得意とする分野ですので、社協交え、個々に相談いただければと思います。

社協では、ハードを作るだけでなく、思いを共有していくことが重要だと思います。仲間を増やして議論していくことが重要だと思います。

○委員

今望海坂の話を書きましたけど、高齢化率10%で町全体でいくと30数%で、地域性が異なる。私が住んでいる自治区では、50年前は地域との交流は無かった。50年たった今交流ができています。なかなか、交流を作っていくのは難しいと思います。地域特性があるので時間をかけてやっていかないとできないことなのかなと思っています。

○委員長

困っていることが明確なところは、その議論をすればいいが、困っていることが明確でない場合は、楽しいことを話し合ったり、良いところを磨き上げていくように高めていくようにすればつながっていきけるのかと。

○委員長

集い系の話がありましたが、コロナ以降止まっていると思いますが、止まって以降の状況は話ありますか。

○事務局

基本的に中止にしてきました。見守り訪問活動という形で、やっています。緊急事態宣言解除後、7月から再開できるものから順次開催しようとしたんですが、熱中症の問題もありますので、9月以降順次開催していこうと考えています。

○委員

学校の方も昔の遊びなども止まっていますね。

○委員長

学校は、学校のほうで判断されると思いますが。夏の学校は食中毒もあるので大変ですね。

4 「岬町地域福祉計画・地域福祉活動計画」進捗状況について

② 基本目標2 公民協働で支えあう 地域の仕組みづくりについて  
事務局より、資料5に従い説明を行った。

委員長は、事務局の説明を受け、委員に意見・質問はないか尋ねた。

○委員

11頁の下から2つ目、社会福祉施設等の設備や専門性、連携・貢献の可能性について検討し、意識共有を図ったとのことですが、具体的に説明してもらえますか。

○事務局

災害の時、デイサービスをしている事業所であれば、車いす対応の車両を所有している、空いている時にその車を使う。施設の設備を住民に開放して、活用していくことを検討している。デイサービスを緊急時に避難所として活用できないか課題の洗い出しを行って、プログラムを作っていければと思います。

○委員

課題を出して前向きに検討していくということですね。あと行政の方に3点ほど聞きます。

その下の、協議体会議というのはどういった団体が入っていますか。

○事務局

資料準備しますので、次の質問をお願いします。

○委員

次に13頁、下から2つ目、地域課題について検討をしているとありますが、どんな課題があるのか教えてください。

○委員長

今は、12頁までになりますので、この後の議題ですね。

○委員

わかりました。

○委員

10区11区の買い物支援のことについて教えてほしいのですが、民生委員でも検討したんですが、保険の問題はどう解決したのか教えていただきたい。

○事務局

保険については、「どないしたらええん会」さんの会長の車を使用し、自賠責と、社協の移送サービスの保険を使用し、車両自体に保険をかけています。

○委員

保険の話が難しいです。また後で聞かせてもらいます。ありがとうございます。

○事務局

協議体には、17団体ありまして、地域包括支援センター、社協、ボランティアセンター構成員、生活支援コーディネーター、民生委員・児童委員協議会構成員、自治区長連合会構成員、商工会構成員、シルバー人材センター職員、地域密着型サービス事業所職員、岬町社会福祉施設等連絡会が推薦した者、岬町ケアマネジャー連絡会が推薦した者、医療機関職員、介護者（家族）の会構成員、認知症地域支援推進員、岬町長生会連合会構成員、岬町まちづくりエディター、地区福祉委員会の方に入っている方がいます。

○委員

17団体で協議を行っておりと記載があるが、どこまで話ができ、評価としては概ねできたとなっているが、淡輪のことを言っているのか、福祉の17団体のことを言っているのですか。

○事務局

顔の見える関係で事業所・団体同士が、岬町全体として何か一つのことをやってみようとするのは大切なことですが、なかなか難しい状況の中、協議体から派生してできたのが、10区、11区の実践になっていきます。

地区ごとで課題やニーズの違いがあるため、各構成団体が独自の地域支援を行っているほか、自治区単位での地域の取り組みが広がっています。また、各地区では解決できない課題やニーズを吸い上げ、第一層協議体において、協働できることなど話し合いをしているところです。

○委員長

私の手元に社協の広報紙「社協みさき」があります。本年7月発行、第130号の11ページに協議体に関する短い説明があります。しかし、この記事には「17団体の名簿」が無い。書くべきでした。また、社協と町のホームページに本協議体の活動と17団体の名簿を掲載すべきだと、私は考えます。岬町社協は紙の広報紙は非常に優れていますが、町社協のホームページは、現在の活動を住民等に伝える、今後多くの方々に活動への参加を呼びかける。いずれの面も非常に弱い。今後、取り組むべき課題です。

○委員

今詐欺が多いですよ。去年の4月に警察と懇談会をしたんですが、今年は、4月が異動の時期とコロナの影響でできていないんですよ。警察と民生委員とつながることはありがたいと思います。町としてつなぎをしてほしいと思います。警察とのつながりは、虐待の問題でどうしても必要になるので、協力していただきたい。もう一点、防災のことについて、避難所のこと、今までと違うのはコロナがありますので配慮をお願いします。

○委員長

本年の熊本等での水害でも、多くの住民が避難所等に避難しましたが、人数が多いとコロナ等の感染症対策も「同時に」課題になり、今後は岬町でも、このような観点から、様々な再検討が必要と感じました。

4 「岬町地域福祉計画・地域福祉活動計画」進捗状況について

① 基本目標3 地域共生の実現を支える 基盤の整備について

事務局より、資料5に従い説明を行った。

委員長は、事務局の説明を受け、委員に意見・質問はないか尋ねた。

○事務局

地域ケア会議の課題について、事務局から説明させていただきます。高齢者や障がい者の地域での見守り支援体制の構築、強化。集える居場所づくり。外出支援における移動手段等の確保。他機関とのネットワークの構築、関係機関等との連携強化。認知症や障がい者の正しい理解、理解促進。精神疾患の症状を抱える方への支援方法。支援拒否する家族とのかかわり方。関係機関の服薬状況に関する情報共有。認知症等における医療介護の連携。長期療養入院中の方への支援について。主介護者がいない場合や問題が深刻化しないよう他機関との連携となっています。

○委員

地域課題というのは福祉行政全般のことだと思うのですが、課題だらけで、概ねできたと評価されていますが、課題だらけと違うのではないのでしょうか。担当課が異なりますので、回答は結構です。

それと、もう1点、15頁で緊急通報装置の記載、2か所誤りがあると思います。

○委員長

今のところ、委員のおっしゃるとおりですね。しっかり課題を書かないといけません。多職種連携のところなんかもそうですが、何ができて何ができていないのか明確にする必要があります。17頁の総合相談のやつなんかも検討中が多いので、来年以降取組みが進むのかなと思います。医療介護連携なんかは取り組むメニューが多くありまして、岬町では医療の支援がしんどいところがあるみたいですね。医師に頑張ってもらわないと仕方ないですよ。医療と福祉は近いようで近くないので、一つ一つ取り組んでいかないと仕方ないですよ。

○委員

居場所づくりなんかコロナで取り組んでいけない。コロナが大きな影響を占めているので、このような状況をどうしていくか悩んでいるところです。

5 今後のスケジュールについて

事務局より、資料6に従い説明を行った。

委員長は、事務局の説明を受け、委員に意見・質問はないか尋ねた。

○委員

お盆は外してください。福祉の関係の話は広く議論しないといけないと思いますので、次年度については宜しく願います。

資料6は了承され、上記の委員発言や、委員各位の都合等もふまえて、今後の委員会日時を決めることになった。

以上で全議題が終了したので、委員長が閉会を宣言した。